

卓越した技能者(現代の名工)

「現代の名工」は、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を表彰するものであり、技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、技能の世界で活躍する職人や技能の世界を志す若者に目標を示し、夢と希望を与えてきました。

毎年、全国で約150名の方が表彰されますが、沖縄県推薦の受賞者(一般推薦の受賞者を除く)については、次のとおりとなっております。

No.	年度	職種	氏名	年齢	市町村	技能の概要
1	S48	織布工	平良敏子	52	大宜味村	芭蕉布織物の技能に卓越し、伝統芸能のよさを守りながら現代風にアレンジすることによりその普及を図った。
2	S49	織布工	下地景康	62	平良市	宮古上布の織物技能に卓越し、宮古上布の技術の考案、改善し、ベルギーにおける万国博で銀賞を受賞した。
3	S50	織布工	宮平初子	52	那覇市	卓越した技能をもって埋もれた「首里の織物」の技法を復活再現し、現代に蘇生させ、伝統工芸の振興に貢献した。
4		とび	桜井良雄	55	那覇市	港湾橋梁、無線タワー、発電所工事等に優れた実績を残し、その技能は卓越したものであり、技能者養成にも努めた。
5	S51	陶工	小橋川永昌	67	那覇市	赤絵の製造技能に卓越し、赤絵大瓶焼成法の完成等作業の改善を図り業界の発展に寄与した。
6		菓子製造業	新垣淑扶	79	那覇市	和風と品風の間に創案された琉球菓子の特殊製法に卓越した技能を有し、琉球菓子の伝統を保持している。
7	S52	陶工	金城次郎	64	読谷村	陶器焼成の技法に卓越した技能を有し、海洋島を象徴する風土、環境にあった模様を考案し、魚文入れ焼成法を開発、業界の発展に貢献した。
8	S53	織布工	大城カメ	64	南風原町	琉球絣織特に図案の設計と配色の技能に卓越し、斬新な色彩の製品を作り出す等産業の発展に寄与した。
9	S54	漆器工	嘉手納並裕	70	那覇市	沖縄漆器の下地塗りに使用する豚血保存の研究発明により業界の発展に寄与した。
10	S55	挽物工	長嶺但徒	75	那覇市	挽物の技能、特に点茶用の茶入なつめの合口部の製作に卓越した技能を有し、伝統的技法の承継と保存に貢献するとともに後進の指導育成に尽力した。
11	S56	プレス金型工	山城永久	76	宜野湾市	プレス加工技能、特に上具網の加工及び熱処理技能に卓越し、幾多の工夫、改善を行うとともに、後進技能者を指導育成した。
12		織布工	与那嶺貞	72	読谷村	読谷山花織の図案作成、花織独特の花綜作り技能に卓越し、約90年間途絶えていた読谷花織の復元蘇生するなど伝統的技法の承継と保存に貢献した。
-	S57	該当無し				
13	S58	造園	小林昇	54	那覇市	造園業に従事し、その間技能の研鑽に努め精励し、優秀な技能を有し、郷土の緑化に貢献する一方、業界の統一に尽力した。
14	S59	陶工	高江洲育男	54	那覇市	壺屋焼の技能、特に沖縄のシンボルである獅子像の製作技能に卓越し幾多の考案、改善を行い、生産性の向上に貢献するとともに、後進技術者を指導育成した。
15	S60	調理師	安里幸一郎	46	那覇市	日本料理の技能、特に琉球料理の技能に卓越し、技能の研鑽に努め琉球料理法の考案等幾多の考案・改善を行い業界の発展に貢献するとともに、後進技術者を指導育成した。
16	S61	造園	宮城孝夫	50	那覇市	特に県特有の亜熱帯植物の特性を生かした植栽及び作庭の技能に卓越し、公園、学校等公共施設の緑化を数多く手がけ、業界の発展に貢献するとともに、技能検定等を通じて後進技術者を指導育成した。
17	S62	陶工	宮城勝臣	51	与那原町	特に花器、茶器、壺等の製作技能に卓越し、技能の研鑽に努め、沖縄の陶土及び釉薬の開発研究を行い琉球焼の技術の向上、地場産業の発展に貢献するとともに後進技術者を指導育成した。

No.	年度	職種	氏名	年齢	市町村	技能の概要
18	S63	漆器工	大見謝恒正	78	那覇市	漆器工の技能、特に琉球漆器の上塗、漆黒の艶やかさ、朱と黒の大胆なコントラスト、厚塗りのボリューム感等、琉球漆器の特徴をとらえ、琉球漆器の評価を高め、業界の発展に貢献した。
19	H1	織布工	大城廣四郎	68	南風原町	特に琉球絣の技能に卓越し、琉球絣の幅を広げるため、消費者のニーズに合致した色物絣の染色技術改善に取り組むとともに、絣と紅型の複合製品の改善、開発を行うことにより、業界の発展に寄与した。
20	H2	ガラス製品成形工	大城孝榮	50	那覇市	琉球ガラス製作の技能に卓越し、金銀箔を用いた高級ガラス器の開発、ガラス造花の考案、特殊な色案を使用した斑文溶着法の開発などを行い、業界の発展に貢献した。
21	H3	電気工事 作業者	松田幸博	60	本部町	屋内電気工事、外線工事の施工の技能に卓越し、土圧破損防止を図るケーブル埋設工法の考案等、幾多の考案・改善を行い、安全性の向上と労働力の効率化を図るとともに後進技能者の指導・育成に貢献した。
22	H4	陶工	島袋常雄	65	那覇市	大物焼の技能、特に荒焼の技能に卓越し、炊き口の改良による燃料の節約、各種デザインの技術研究を行うなど業界の発展に寄与するとともに後進技能者の指導・育成に貢献した。
23	H5	沈金工	金城唯喜	68	那覇市	「琉球沈金」の技能に卓越し、的確な描写と近代的感覚の図柄は琉球漆器を内外に広めた。また、独自の「沈金刀」を考案して技法の改善向上に務め、業界の発展に寄与するとともに後進の指導育成に貢献した。
24	H6	ガラス製品成形工	稲嶺盛吉	54	読谷村	廃ビンを利用した琉球再生硝子の技術開発と高品質な工芸品作りに従事する中で、再生泡硝子技法、アイスカット技法の先駆者として、観光土産品としてのイメージを生活雑器、建築資材としての工芸品に大きく変えた。
25	H7	木製家具 建具製造工	島袋信次	56	那覇市	特に県産材である琉球松の加工技能に優れ、家具用材には不向きといわれた琉球松に特殊な加工を加えることにより用途を開くとともに、技能検定を通じて、後進技能者の指導・育成に貢献した。
26	H8	陶磁器 製造工	新垣榮用	67	那覇市	壺屋焼における、ろくろ成形による大物甕類成形と手ひねり成形による獅子の制作において、特に卓越し、伝統技術・技法の継承・保持や新製品の開発等により沖縄の陶磁器製造の発展に寄与した。
27	H9	石工	眞座孝太郎	58	具志頭村	琉球墓の施工に卓越した技能を有し、沖縄古来の伝統技術を継承し、文化財、史跡等の修復、復元に実績を残すとともに、後継者の指導育成にも尽力した。
28		染色仕上工	城間栄順	63	那覇市	琉球王朝時代から続く紅型の伝統技能を忠実に継承する一方、沖縄の海・魚を表現した作品は独創性にあふれ、卓越した技能を有する。また、紅型を商品化して一般に普及させるとともに、後進の指導育成にも貢献した。
29	H10	織布工	新垣幸子	53	石垣市	文献等を基に幻の織物といわれていた括染の八重山上布を独自の工夫、研究により復活させ、これを普及させることにより、八重山の織物業を活性化させた。
30	H11	畳工	久豊忠	72	那覇市	畳表の加工に難点がある沖縄県産イ草を、独自の工夫、研究で克服し、その技術を普及させ、沖縄県産のイ草生産に貢献した。
31	H12	織布工	新絹枝	74	石垣市	藍染め一色の八重山ミンサー織りを、独自の創意、研究により八重山自生の植物染料等を利用して多色染めに成功するとともに、斬新な絣の意匠を取り入れた作品を開発し、ミンサー織りの普及拡大に寄与した。
32	H13	ガラス吹工	桃原正男	61	那覇市	琉球ガラス独特の製作に優れ、色、デザイン等に独創性があり、沖縄県に自生する抗菌性のある植物の月桃を混入した「月桃ガラス」を考察する等、品質・生産性の向上に貢献した。
33	H14	侵染工	新垣隆	52	読谷村	読谷山花織の染色から4通りの織布技能まで全て習得する等、読谷山花織の技能に卓越しており、特に染色は明治から途絶えていた技法を復活させ、その技法を普及し、生産性を高め業界の発展に貢献した。
34	H15	木型工	神山寛盛	74	南風原町	木型工としてマンホール鉄蓋等の鋳物の生産に従事して二千種以上の木型模型を製作し、全国初のデザインマンホール蓋の製作、競争力のある鉄蓋の造形方法等でデザイン蓋の普及に貢献するとともに、後進技能者の育成にも尽力した。
35	H16	フラワー装飾	嘉陽馥子	67	那覇市	フラワー装飾のバイオニアとして業界の発展に寄与し、ウェディングブーケ、冠婚葬祭に代表されるセレモニーの装花技能に卓越し、格調高い装花造形技術の基盤を構築した。
36	H17	造園	仲程路芳	60	宜野湾市	日本庭園の造園技術に熟達し、それを基礎に琉球庭園の調査研究を行い自らの作庭に活かすとともに、職業能力開発校での講師や技能検定委員として後進を指導する等、業界の発展に寄与している。
37	H18	ろくろ成形工	新垣勲	62	那覇市	三百年余の歴史のある壺屋焼の伝統的技術・技法を保持し、特にろくろ成形技能は業界の第一人者である。赤絵色を出す新技法の確立等により産地の技能振興に大きく貢献し、組合役員としての後進指導にも尽力している。

No.	年度	職種	氏名	年齢	市町村	技能の概要
38	H19	左官	本多暢吉	68	八重瀬町	伝統的な工法だけでなく、時代に即した新工法の導入を図るとともに、器具の改良や工法の考案により業界の発展に大きく貢献している。また、組合理事として技術講習を企画するなど後進の指導育成にも尽力している。
39	H20	アルミ押出 ダイス修正工	上江洲武信	54	うるま市	アルミ押出型材の薄肉化や、押出中止金型数の低減により、生産効率の向上を実現。業界からの信望も厚く、各押出メーカーから高い評価を得ている。
40		和服仕立職	嘉手納タケ子	80	那覇市	和服のみならず、琉球王国時代の琉装の仕立て(琉縫)に関し、優れた技能と高い知識を有する。数多くの琉装を複製するなど業界の発展に大きく貢献している。また、講習会の講師を務め、後進の指導育成にも尽力している。
41	H21	広告美術工	金城清	56	西原町	広告美術工として立体的なレリーフ製作や着色仕上げに関して特に卓越した技能を有している。また、長年技能検定委員を務めるなど、業界の発展にも貢献している。
42		椅子張工	新城 伸治	70	浦添市	木製家具製作技能に卓越しており、琉球松等の地元素材を使用した家具作りにより業界発展に貢献するとともに、技能検定員を務め、後進の育成にも尽力している。
43	H22	琉球赤瓦屋根 施工	山城 富嗣	78	那覇市	長年琉球赤瓦屋根施工に従事し、寺社建築における瓦葺き作業及び琉球赤瓦屋根の漆喰塗り作業に卓越した技能を有しており、世界遺産である首里城関連施設の復元・修復工事にも従事した。
44	H23	琉球赤瓦屋根 施工	大城 幸祐	77	那覇市	長年琉球赤瓦屋根施工に従事し、首里城守礼門をはじめとする多くの重要文化財の復元工事において優れた技能を発揮し、文化財の保存、施工技能の継承に大きく貢献している。
45	H23	写真工	長濱 宗男	61	八重瀬町	琉球婚礼写真の振り付け技法を考案し、撮影の基礎技法として普及させた。また、撮影技能の伝達、指導を行い、業界の発展にも貢献している。
46	H24	ワイヤロープ 加工	桑名 勝俊	68	那覇市 (大阪府)	ワイヤロープ加工・素線メッキの技能に優れ、特許を取得した「セミロングスプライス」という独自の加工法は、作業の効率化とコスト削減を同時に実現し、業界の発展に貢献している。
－	H25	該当無し				
47	H26	和服仕立職	熊谷 フサ子	71	那覇市	和服製作・手縫い技能に優れ、独自に考案した衿付け・縫い代始末手法により、和服のような仕立替えができないとされてきた琉服の仕立替えを可能とするなど卓越した技能を有する。
48		ガラス吹工	池宮城 善郎	56	うるま市	琉球ガラス製造において、「多層段彫り技法」など独自に編み出した様々な技法により、廃材リサイクルからスタートした琉球ガラスを美術性の高い工芸品の域に達せしめた。
－	H27	該当無し				
49	H28	西洋料理調理 人	海老原 慧	75	宜野湾市	フランス料理を国産食材を用い料理する卓越した技能を有している。さらにその技能を生かし、国産食材を日本人の嗜好に合わせたフランス料理に仕上げる技能も有している。また、日本を代表する西洋料理人として各種料理コンクール沖縄大会の審査委員・審査委員長や調理師養成学校等の講師、若手調理師を対象とした西洋料理・ベジタブル&フルーツカービング講習の指導者を務めるなど後進技能者の育成・指導に貢献している
50		ガラス吹工	佐久川 次男	66	恩納村	琉球ガラスの成型作業の速さや、大型作品を製作する宙吹き法と呼ばれる技法に長けている。独自のセンスにより沖縄を表現した個性的な作品が高評価を得ている。また、製作現場での指導により多くの後進技能者を育成し、中高生を対象とした職場体験の実施など後進技能者の掘り起こしや、観光客等を対象としたガラス製作体験事業を発案し県内各地に普及させ、業界の発展に尽力している。
51		織布工	桃原 秋子	79	大宜味村	長年の経験から原木の成長度合いを手で触れることでの確に見極め、良質の繊維を採取する技能に長けている。一般的な芭蕉布が一～二単位（緋の単位。一の緋柄に対し一単位と数える）で製作されているところ、同氏は四単位で緋結びを行う卓越した技能を有する。また、「喜如嘉の芭蕉布保存会」の副会長として後進の指導・育成や業界の発展に尽力している
52		建築とび工	野辺 豊	68	八重瀬町	鳶、土工工事の技能に優れ、特に橋梁工事・建方工事における、高層での足場組立、施工段取り等の優れた技能を有する。また、沖縄県鳶土工業会の会長等を歴任し、各種講習会の講師や技能検定委員を平成五年から現在も務める。さらに、「全技連マイスター」、「ものづくりマイスター」にも認定され後進の指導・育成や業界の振興に尽力している

No.	年度	職種	氏名	年齢	市町村	技能の概要
－	H29	該当無し				
53	H30	染物職	屋富祖 幸子	71	那覇市	琉球びんがた製作において、型紙のデザイン、型紙製作、型置き、色挿し、隈取り、地染め、蒸し処理、糊づくり、糊置き、型継ぎ等、一貫した作業を全て手作業で行なっている。正確・迅速・均一に仕上げる卓越した技能を保持し、「鳳凰の図」や「糸芭蕉柄」など伝統文様を活かしながら琉球びんがたの新たな可能性を開拓している。 独創性を有し、繊細で緻密、線の強弱、曲線の優雅さ、配色・染色の濃淡による表現の巧みさ等、技術・技能は際立っている。
54		ガラス吹工	平良 恒雄	70	浦添市	手作りガラス工芸の製作に長年従事し、特に顧客の多様化する要望に、迅速的確に対応できるなど、宙吹きによるガラス成形加工に優れた技能を有している。 また、常に向上心を持ち、琉球ガラスの品質改良、新技法の開発等に取り組み、製造工程の標準化を実現し、商品化につなげた。さらに、その過程で見出された製法を他職人と共有し、更なる技術継承を実現するなど業界発展に貢献している。
55		畳工	益田 伸次	68	宜野湾市	曲（くせ）や歪（ひずみ）のあるナギレ間を割本法、三四五本法などの伝統的な技法に加え、「糸」「縁引き」などの用具を活用して正確に採寸し、さらに、本土産（ほんどさん）に比べて堅い沖縄県産イグサの畳表をスチーム処理しながら、畳を弓状に曲げ、仕上がりの良い縁無し畳表の製作に優れた技能を有している。また、ものづくりマイスターとして小中学校のものづくり体験や高校生及び若年技能者に対する講義や実技指導により将来の技能者の育成に貢献している。
56	R1	ガラス吹工	上原 徳三	66	那覇市	「宙吹き」の技能により、伝統古来の琉球ガラスの作品を多彩な技法で製作する技能に長けている。漆芸の「螺鈿細工」の模様をガラスで表現するため、技術や技能を駆使し、ガラス下玉に銀箔を巻き、その上に数種の色ガラスを生地やカレットで幾重にも重ねた「銀箔螺鈿模様現出法」という技法を新たに生み出した。また、国内のみならず、ベトナムの職人への指導、育成を行うなど次世代への技術継承に貢献している。
57	R2	織布工	大城 一夫	73	南風原町	通常分業方式で生産される「琉球絣・南風原花織」の生産工程において単身で行う技術を有しており、一貫して生産する新たな生産方法を確立することで産地の維持発展の方向性を明確にした。また産地組合が実施する後継者の育成、「南風原花織」の伝統工芸品の指定に尽力するとともに、「琉球絣ファッションショー」を開催するなど地域産業・産地発展に貢献している。
58		ガラス吹工	末吉 清一	58	豊見城市	手作りガラス工芸の製造全般に卓越した技能を有している。作品は芸術性が高く沖縄サミットの晩餐会で使用されるなど琉球ガラスの知名度、美術的評価を高めた。また商品開発を通じて製造工程の標準化を数多く実現し、他のガラス職人と共有し業界全体の生産性の向上に尽力している。平素から組合員、外国人等に対する後進の指導、普及活動に取り組み、技術振興、産業振興に貢献している。
59		陶磁器焼成工	島袋 常榮	76	宜野湾市	壺屋焼を代表するシーサーの製作に従事し、卓越した技術・技能を有している。繊細で緻密な作業及び豊かな表現力で制作されるシーサーは、芸術性に優れ、市場からも高い評価を得ている。新たな登り窯の建造等により派生した産地の人材育成・技術指導は、後継者の育成及び産地拡大となり壺屋焼の発展に繋がっている。壺屋焼の体験実習・学習会等の普及啓発活動は、伝統工芸品産業の振興に貢献している。
60		日本料理調理人	石原 昌明	70	宜野湾市	豊富な知識と経験を基に、地域の食材を使った日本料理の商品開発等に尽力し、農産物の消費拡大、観光産業、地域の食文化及び調理技術の発展に貢献している。又、技能士検定試験の試験員、技能五輪審査員を務め技能検定制度及び技能競技大会の普及に尽力するとともに、若年調理師に対する講習会・研究会の実施、調理師の育成、技能五輪選手への技術指導を行うなど後進の人材育成に取り組んでいる。
61	R3	広告美術工	福田 宗男	69	南城市	永きに亘り広告美術工として従事し、高度な技能を有している。飲食店や商業施設、公共施設等に描かれる広告画は、街の景観を損なうことなく、広告目的を的確に表現するとともに、施設利用者や住民に親しまれる広告物を作製する技能を有している。広告美術協同組合の活動をとおり、広告美術コンテスト、技能講習会等を開催するなど広告美術業の活性化に貢献している。また交通安全運動、地域活動をとおり住民と壁画を作成するなどし、広く一般に広告美術業の理解を深める活動を行っている。
－	R4	該当無し				

No.	年度	職種	氏名	年齢	市町村	技能の概要
62	R5	染物・仕上工	平良 美恵子	74	大宜味村	喜如嘉の芭蕉布は、糸芭蕉の栽培・糸績み、織まで総て手仕事である。技法の保存、継承はもとより、世界唯一の織物としての知名度向上や、ブランド化に向けた国内外への情報発信の先駆的な取り組みは、沖縄の伝統工芸品の模範となっている。また沖縄県立芸術大学の講師、児童・生徒対象のワークショップでの染織指導等、芭蕉布の啓発、普及に尽力。40年以上も喜如嘉芭蕉布事業協働組合を牽引する他、NPO沖縄県工芸産業協働センターの副理事長として、伝統工芸産業の振興に多大な功績を残している。
63		ガラス製品製造工	大城 尚也	59	名護市	琉球ガラス工芸の製造全般に卓越した技能を有している。作品は特に大型（約20kgクラス）の「壺」「花器」等、芸術性が高く評価されている。また商品開発を通じて製造工程の標準化を数多く実現し、他のガラス職人と共有し業界全体の生産性の向上に尽力している。長年、県内の美術展の審査員及び各種審査員として中堅・若手技能者の育成に尽力しているほか、各種美術展で数多くの「受賞者」「県伝統工芸士」などを輩出した実績がある。
－	R6	該当無し				
64	R7	造園師	神谷 朝貞	76	西原町	琉球庭園の伝統技法である琉球石灰岩石組み技能に習熟している。原風景を表現するための大径木の移植や、ススキやサトウキビ、在来種も取り入れた植木移植等、様々な現場で活かせる卓越した安全管理技術及び修景植栽技法を持ち、琉球庭園に関する知識・技能は造園業界における第一人者として高く評価されている。また、県立職業能力開発校で長年にわたり講師を務め業界の発展に寄与するとともに後進の育成に貢献した。
65		ガラス製品製造工	松田 英吉	63	うるま市	独自に製造した泡カレット（一定の粒度で粉砕したガラスの気泡入のもの）を使い、一mm以下の細かい泡模様を作り出す事ができる。また、模様づけの段階で直接ガラスをねじる「ねじり技法」により渦模様の表現を可能にした。泡カレットの技法を用いた「おんなブルー」という商品が沖縄県商工会特産品コンテストで県知事賞を受賞し、沖縄県優良県産品と指定された。後進への指導として、自社での製作による技術継承に加え、琉球ガラス製造協同組合の理事長を二期務め、業界の発展に寄与している。
66		畳工	岩本 久和	69	那覇市	「戻し割縫い」（畳に大きな穴が開かないよう細い木綿針を使って、縫い糸が一本切れてもほつれない縫い方）の技法や、「回し縫い」（二本の縁を一本にする為に紋を合わせて縫うと通常なら隠れてしまう柄を細部まで全て見えるように縫う縫い方）の技法等、優れた技能を有している。 また、紋合わせの技術に熟達し、特に高麗縁を使用する作業では試行錯誤の末、仕上がりの良い厚畳周り敷き等の製作法等を編み出し、普及させることにより、業界の発展に寄与するとともに後進の育成にも貢献した。
67		楽器製造工	新垣 喜盛	84		沖縄の伝統楽器「三線」の革新者である。高価で破れやすい三線の課題を独自開発の「強化張り（きょうかばり）」で解決した。本格的な音色で高耐久かつ安価な三線を実現し、初心者への参入障壁を劇的に下げた。 特許技術を独占せず広く公開したことで全国の職人が活用し、三線の全国的な普及を加速させた功績は極めて大きい。 後進の育成にも情熱を注ぎ「なとーんどー三線」を開発し、自身の技術を惜しみなく公開している。 伝統的な「七つの型」のすべてを製作できる稀有な技能を併せ持つ。
計						67 名